

1 取り組み概要

NTTコミュニケーションズ イノベーションセンターの取り組み ～イノベーションとIOWNで未来を切り開く～

NTTコミュニケーションズ イノベーションセンターは、「新規事業 / 新たな常識の創出」に取り組むとともに、高度な専門知識を持つエンジニアやデザイナーが集まる「Center of Excellence (以下、CoE)」組織として「社内のイノベーション」を推進し、各組織の技術支援 / 案件支援 / 人材育成を推し進めている。

イノベーションセンターの 取り組み

イノベーションセンターは約 330 名の組織であり、IOWN の推進、新規事業創出、生成 AI をはじめとする AI 技術、クラウド、デザイン、ロボット、知財戦略、セキュリティ、ネットワーク仮想化、映像配信 / 伝送、5G、IoT、ソフトウェア等、数多くの専門分野をリードしている。

また、専門家が集まる CoE 組織として、2023 年度の上半期では、社外イベント登壇 36 件、社外イベント開催 12 件、メディアへの発信 34 件と精力的に活動している。また社内では他組織への技術支援 / 案件支援 147 件、技術者育成 57 名、OJT16 名受け入れ等、頼りにされている組織である。

イノベーションセンターの Value 策定

新しいサービスが次々と生まれてくる今日、イノベーションの重要性が益々増している。そして、イノベーションとは究極的にはお客様の行動を変容することだと思っている。それを実現するためには、我々専門家部隊自らがイノベーションセンターの外に「越境」していく必要がある。

そこで、社員一人ひとりが大切にすべき価値観として「イノベーションセンターの Value」を策定した。

メインタイトルとして、組織の壁や境界を失くす意味で「No border.」を据え、そこに繋がる行動指針として、新規事業や新規テクノロジーを意識した「未来を見せよう」、自ら越境していく「『枠』を超えよう」、まずは手を



NTTコミュニケーションズ株式会社
執行役員
イノベーションセンター長
友近 剛史 氏

動かして作ってみる「Implement First」の3つを定義した。

このイノベーションセンターの Value を行動指針として、センター一丸となってイノベーションを加速していく所存である。

本特集での紹介内容

本特集では、イノベーションセンターの数多くの取り組みの中から、生成 AI x ハイブリッド計算基盤の取り組み、IOWN の推進に向けた取り組み、デザインスタジオ「KOEL」の取り組み、テレプレゼンスロボットの取り組みについて紹介する。



図1 イノベーションセンターの Value